



オフィスセーフティ送信機

BS700

オフィスの安心・安全になる。
ビジネスの新しい力になる。

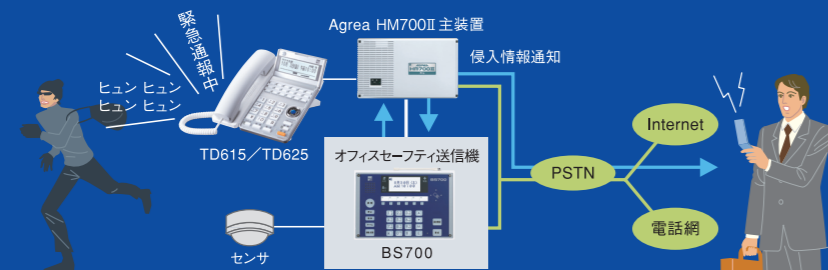


無線センサ対応

BS700の主な特長

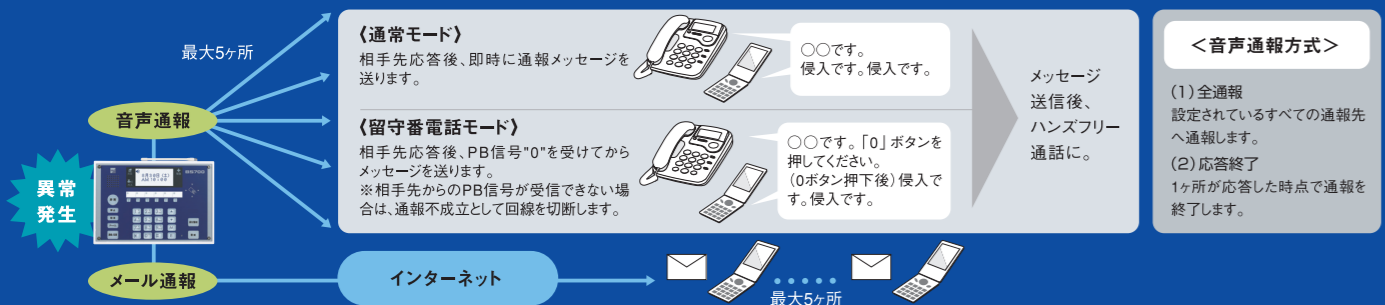
1 最新ビジネスホンとの連動で、セキュリティがより万全に。(Agrea HM700II)

最新のビジネスホン「Agrea HM700II」と一緒にご利用いただければ、さらなるセキュリティ強化が可能です。電話機に標準搭載された人感センサや、オフィスの各種センサが異常を検知した場合、通報先へ即時に音声やメールで通報すると同時に、電話機からの大音量とランプで威嚇することができます。また、部分警戒開始/解除を、電話機からも行えるようになります。



2 異常発生を外出先の携帯電話などへ、メールや音声で通報できる。

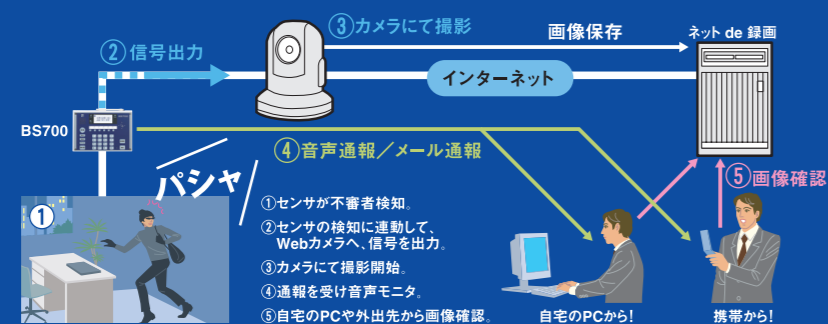
異常が発生した場合、携帯電話などへ最大5ヶ所まで音声通報が可能(オリジナル音声メッセージの登録も可能)。さらに、音声ガイダンス終了後、ハンズフリー状態に切り替わるので、現場の臨場音を確認することもできます。また、インターネット接続により、異常発生や停電などメンテナンスが必要になったときに、携帯電話などへのメール通報が行えます。



3 カメラでの監視・記録も、ASPサービス連携で簡単便利。(ネットde録画)

ASPサービスの「ネットde録画」と連動すれば、各種センサが異常を検知すると、発生場所をカメラが即時に撮影。どこにいてもインターネットや携帯電話で、オフィスの画像やライブ映像を確認することができます。

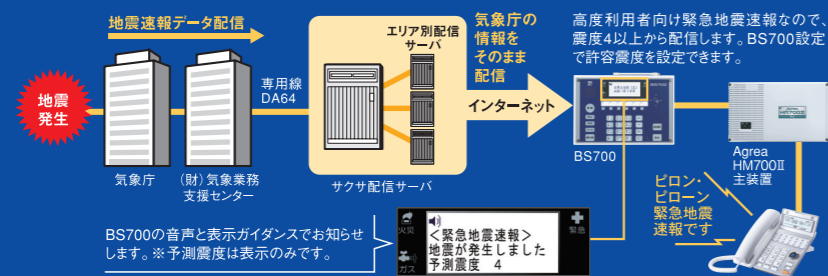
※ASP(Application Service Provider)サービス:インターネットを通じて顧客にアプリケーションを提供するサービス。
※アクセスコントローラは別売です。



4 緊急地震速報対応

オフィスセーフティBS700は、気象庁から配信される緊急地震速報(高度利用者向け緊急地震速報)に対応し、地震発生時には速やかにBS700本体から音と表示でお知らせします。また、ビジネスホン「Agrea HM700II」と連動すれば、電話機からも音と光でお知らせします。サクサが運営する配信サーバから配信しますので、外付けアダプタは不要でBS700だけで利用することができます。

※緊急地震速報を利用するには、BS700がインターネットに接続できる環境と「ユーザー登録」を行う必要があります。



※緊急地震速報は、可能な限り素早くお知らせするために、誤差や誤報の可能性もあります。また、震源地に近い場合は、緊急地震速報が間に合わない場合もありますので、緊急地震速報の特性や限界を十分にご理解ください(気象庁発表の「緊急地震速報の限界」を参照ください)。http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/Whats_EEW.html。*緊急地震速報は、地震による被害を極力軽減するためのものであり、地震による被害を防ぐものではありません。また、万一、地震による被害が発生した場合でも当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5 非接触型ICカードに対応。

警戒開始/解除の操作は、カード(TypeA、FeliCa)をBS700本体のカードリーダー部にかざすことで行えます。さらに、アクセスコントローラ(外付けカードリーダー)を玄関や各部屋の入口に設置すれば、外出・帰社と同時に警戒開始/解除の操作が行えます。 ※カードを利用せずに暗証番号での警戒開始/解除も可能です。※カードの最大登録枚数は100枚です。



使いやすさに配慮した本体操作パネル



主な仕様

項目	BS700
適用回線	アナログ回線(音声通報時使用) インターネット環境(メール通報時使用)
センサ入力	有線センサ:8チャンネル(8ch目は無電圧/有電圧切換可能) 無線センサ:32チャンネル*1
FeliCa対応リーダ	内蔵
アクセスコントローラ	最大2台接続可能*2
主な通報先	音声通報先.....5ヶ所 メール通報先.....5ヶ所

*1 ビジネスホンAgrea HM700II運動時は30chまでとなります。
*2 センサ、アクセスコントローラの台数により、別途外部電源が必要になります。

注意 安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- センサおよびリモコンは当社指定のものをお使いください。
- 本装置は異常発生を通報する装置であり、いわゆる災害防止装置ではありません。万一、事故・災害などが発生した場合でも一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本カタログに掲載しております(全)商品について、ご購入の際は消費税が別途加算されますのでご承知をお願いします。
- 本カタログ記載の仕様・内容は改良のため予告なしに変更する場合があります。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- カラーは印刷の都合上、実際とは異なることがあります。
- 仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知おき願います。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易管理法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをおこなってください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

保守点検
本商品の機能を正常に維持するために、定期点検をお薦めします。

電池リサイクルのお願い
BS700本体のニッカド電池のリサイクルにご協力ください。



saxa サクサ株式会社

本社/東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー 〒108-8050

- ソリューション営業本部
 - 第三営業部 ☎(03)5791-3931 大宮営業所 ☎(048)650-9311
 - 関西支社 ☎(06)6367-0393 金沢営業所 ☎(076)255-0393
 - 中部支社 ☎(052)220-3930 高松営業所 ☎(087)861-7450
 - 九州支社 ☎(092)473-1511 静岡営業所 ☎(054)653-7711
 - 東北支社 ☎(022)297-5835 広島営業所 ☎(082)511-7555
 - 札幌営業所 ☎(011)281-1035

●お客様相談室: ☎0570-001393 ☎(050)5507-8039

URL http://www.saxa.co.jp/
E-mail customer@saxa-as.co.jp

●お問い合わせ・ご用命は

このカタログの記載内容は2011年3月現在のものです。

このカタログは再生紙を使用しております。 **VEGETABLE OIL INK** このカタログは植物油インキを使用しています。

ビジネスの拡大とともに 守るべき資産・情報は増え、 オフィスのリスク対策も求められます。

情報化社会の発展とともに

サクサの「BS700」は、有線・無線を問わず各種のセンサに対応し、高い防犯・防災効果を発揮する

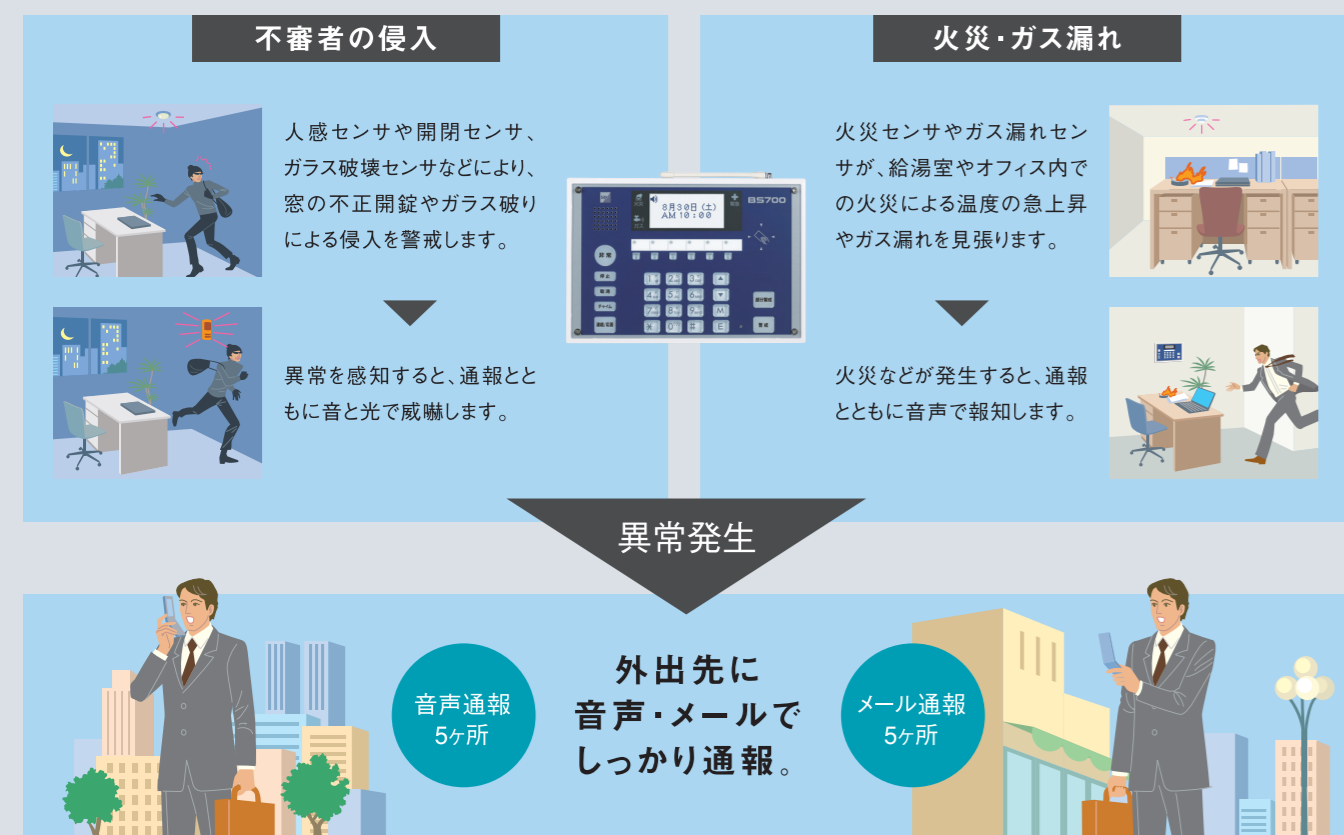
オフィスセーフティシステムです。中小規模オフィスで求められているセキュリティニーズに、コストパフォーマンスよく応えます。

例えば

- ❗ 金品や商品、機器の盗難で多大な金銭的損害。営業機会の損失も。
- ❗ パソコンや書類が盗まれ、機密情報が流出。損害賠償に発展。
- ❗ 社員の不正行動に気づかず、取引先からの信用失墜。
- ❗ 火災やガス漏れが発生。オフィスにいた社員の身にも危険が。

そこで

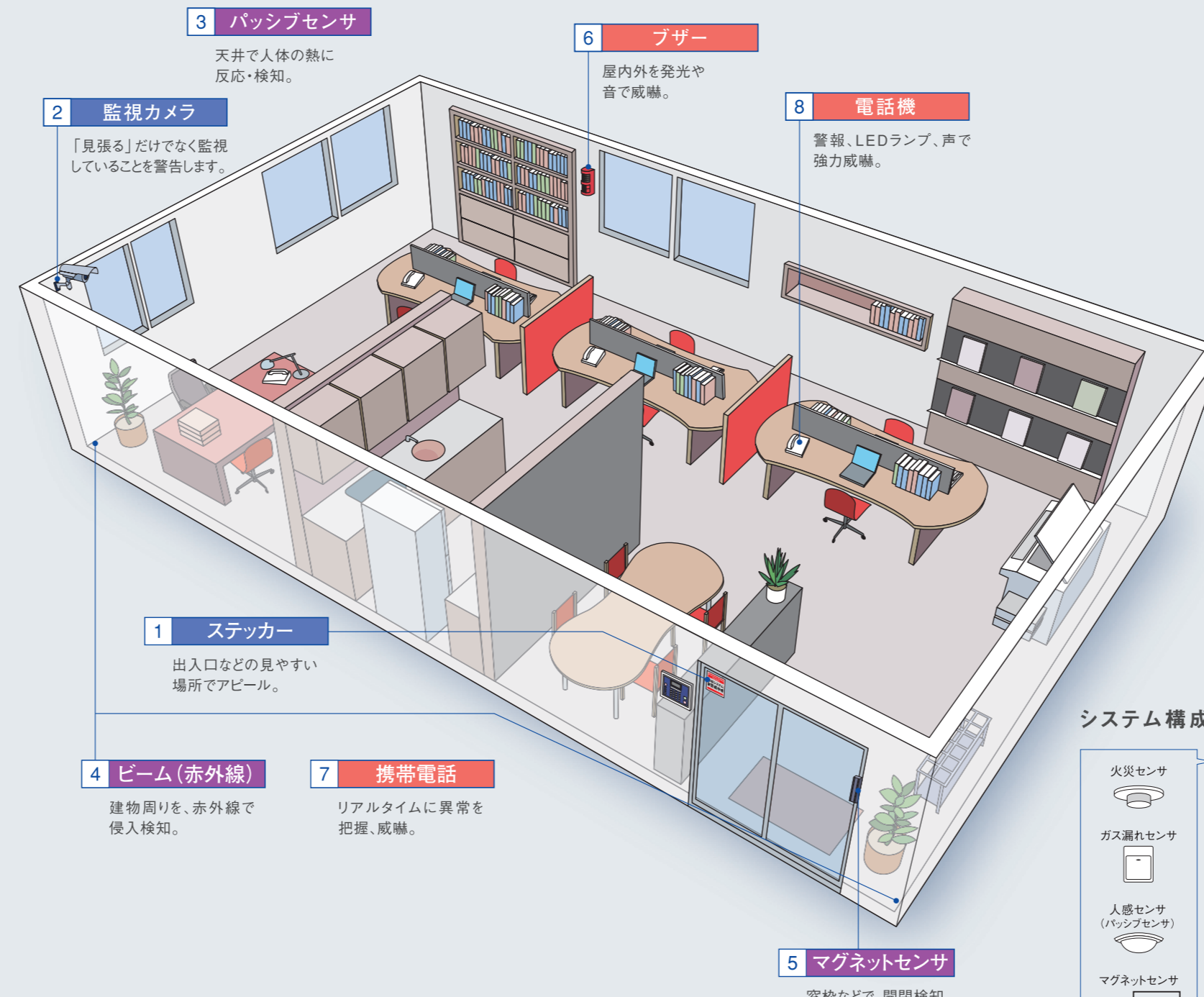
確かなビジネスのために、先進のオフィスセーフティを導入ください。



監視から威嚇、通報まで。24時間・365日オフィスを見守るセーフティパートナー。

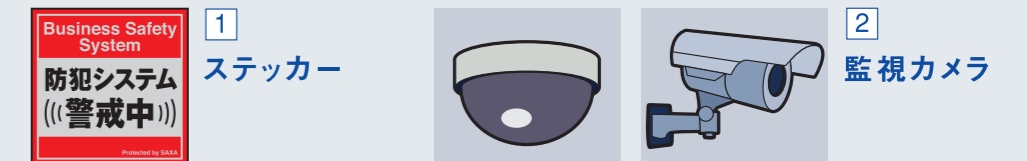
中・小規模オフィスで求められる多様なセキュリティニーズにお応えする「サクサ オフィスセーフティシステム」。

不審者の侵入や火災、ガス漏れなどを検知してお知らせしたり、光や音声で威嚇するだけでなく、セーフティツールを設置しておくことが高い防犯効果を発揮します。



抑止 警戒・監視のアピールも防犯のひとつに。

侵入を企てる者に防犯意識の強い職場という印象を与えること、そのことが盗難の抑止につながります。侵入・盗難をする前に現場を下見することが多いことから、出入口などの見やすい場所に視認効果の高いステッカーを貼り付けたり、監視カメラを目立つ場所に設置することで、外部からの侵入経路をしっかりと見張っていることを強くアピールします。



検知 オフィスのすみからすみまで見逃さない。

侵入者がどのルートから侵入しても、もれなく即座に検知・反応すれば盗難行為などをくい止めることができます。人体の熱に反応して検知する天井のパッシブセンサや、屋外・建屋廻り・シャッター前などの侵入ルートにて赤外線にて検知するビーム(赤外線)、窓枠やドアなどで開閉を検知するマグネットセンサがオフィスの大切な財産や情報を守ります。



威嚇・発報 侵入者の盗難行為や災害を効果的に阻止する。

たとえ無人のオフィスに侵入した者が盗難行為に及ぼうとしても、光や大音量の警報で萎縮させれば退散させることができるはず。オフィスの異常事態を検知したら外部の電話機に自動通報、大音量の警報と電話機LEDランプで威嚇するだけでなく、外部から直接声で強力に威嚇できます。また屋内外設置のブザーが眩しいライト発光やうるさいブザー音で威嚇したり、出先でも携帯電話やメールでリアルタイムに異常を把握し、直接声などで威嚇することもできます。



システム構成図

